

テーマ

台湾人の友達に手紙をかこう

目標

学習者レベル（初級）
 中国語で自分のことを紹介できる。相手について尋ね、返事がもらえるような文章が書ける。
 返信の内容を理解することができる。

コミュニケーション能力指標

手紙をかくことができる。またその返事を読むことができる。
 自分の家族、趣味等を文章で紹介することができる。
 活字ではない手書きの文章をよむことができる。

学習シナリオ

<場面状況>

台湾明新科技大学工学部では、36名のベトナム人一年生が中国語のライティングクラスを学んでいる。ほぼ全員が来台1か月未満のため、初級からのスタートである。一年生は週10時間程度、ほぼ毎日初級中国語クラスがある。専攻は全員工学であるが、専門についてのライティングは難しすぎるので、身近な生活に密着した、手紙を書いて返信をもらい、それを読むという課題に取り組むことにした。またこの活動を通して台湾人の友達を作り、学習動機を高めることを目標とする。

<活動の流れ>

活動に入る前に、A Course in Contemporary Chinese（台湾で最も広く使われている教科書）第2課の“my family”を復習する。

第1回は授業に入る前に、中国語で手紙をかいたことがあるか、台湾人の友達が欲しいかどうか尋ねる。また、手書きの中国語は活字に比べて読解しやすいかどうかについて尋ねる。次に普段友人との連絡はSNSが多いが手書きで中国語で手紙をかくことの意義と、その評価方法について説明した。住所や宛名の書き方を学び、下書きをする。

第2回は前回書いた内容を清書する。また相手に質問したり、カラーペンを用意し、イラストを添えて返事をもらいやすくする工夫をしてもいいことを伝える。学習者は清書した内容を封筒に入れ、教師は授業後後それを台湾人学生（中国語ネイティブ）に渡し、返事を書いてもらう。

第3回は相手からの返事を待つため、別の授業内容を行う。

第4回は返事を読解する。何が書いてあるか知るためスマートホンで単語の意味を調べる。それでもわからないものに関してはクラスメートや先生、TA(ティーチングアシスタント)に聞いたりする（普段活字の繁体中国語を目にする機会はあるが、手書きの中国語に苦戦する学生が多かった）。再度相手に返事を書きたいという要望が多く、授業の後半を返事を書く時間にあてる。

第5回はお互いに実際会ってみたいという要望が多く、双方を同じ教室に集めて引き合わせ、手紙をかいた人（ベトナム人学生）と返事を書いた人（台湾人学生）をペアにし、簡単なタスクを与えて協力してペアで解決させる（ベトナム人学生は三分間にさんずいの漢字をいくつかけるか、台湾人学生はそれを手伝う）

総括的評価

清書した手紙、中間テスト（手紙をかく際に使用する単語、住所の書き方）

3×3+3分析

| | 言語領域 | 文化領域 | グローバル社会領域 |
|------|--|--|--|
| わかる | 中国語の手紙をかくときに使う単語や表現、住所、宛名の書き方、家族や趣味の紹介の仕方がわかる。 | 中国語で住所を書くときは、大から小へと書くことを知り、(県→市町村→番地) ベトナム語とは逆であることがわかる。 | 台湾とベトナムで流行しているアニメ、映画、キャラクター等の共通点や違いがわかる。 |
| できる | 中国語で、手紙をかくときに使う表現を運用し、実際に書くことができる。また読むことができる。 | 台湾人の同世代の学生がどんな文化(アニメ、映画など)に興味があるのかを紹介したり、読んだりできる。 | 自分が卒業後台湾に残ったり、ベトナムに帰国して台湾企業で働くことをふまえ、異文化の人や専攻が違う学生と積極的に交流することができる。 |
| つながる | 手紙をクラスメートに見せ、漢字が表現が正しくかけているかを見たり見てもらったりする。 | 手紙をクラスメートに見せ、内容についてのアドバイスをもらったり、クラスメートの書いたものについてコメントをする。 | 活動を通して台湾人の友達を作り、SNSを交換したり課外でも交流する。 |
| 三連携 | 連携1：同世代の台湾人の趣味や家族構成についての興味 連携2：異文化理解、多元文化理解 連携3：台湾人学生が興味を持っている文化(アニメ、映画、キャラクター)を知る | | |

目標分解表

| 個々のタスク | 小目標 | 中目標 | 大目標 |
|--|--|--|---|
| <p>手紙表現を理解する 手紙表現読んだり書いたりできる 実際に手紙をかく 返事を受け取って読む</p> | <p>単に正確に漢字を書いたり、手紙表現を使ったりするのではなく、返信してもらえるような質問内容やイラストを加える等の工夫ができる。</p> | <p>活動を通して知り合った台湾人の学生とペアを作り、タスクを達成することができる。</p> | <p>交流活動を通して台湾人の友達を作り、今後も SNS などを通し課外でも交流し、中国語学習の動機を高めることができる。</p> |
| <p>[総括的評価]</p> | | | |

目標分解表

| 個々のタスク | 小目標 | 中目標 | 大目標 |
|--|---|-----------------------|--|
| 住所、宛名を書く | 手紙に盛り込む内容を決める | 手紙に書く内容を決め、下書きをする | 中国語で手紙をかい て、台湾人学生に読 んでもらう。また返 事をもらう 交流活動でペアでタ スクを達成できる。 また交流活動を通し て台湾人の友達作り 、SNS を交換し たり課外でも交流 し、中国語学習の動 機を高めることがで きる。 |
| 家族紹介の内容を考えてかきだす | | | |
| 趣味紹介の内容を考えてかきだす | | | |
| 質問を考える | 返事をしやすい質問を考えたり、イラスト を加える工夫をする | | |
| 返事を待つ表現を書きだす | | | |
| イラストを描く | | | |
| 下書きで間違えた箇所をチェックする | 清書：漢字を正しく書き、正しい表現を使 う | 清書として実際に手紙をかく | |
| 正しい表現方法を考える | | | |
| 漢字を正しく書く | | | |
| クラスメートに意見をもらう | クラスメートにもらった意見を参考に修 正を加える | | |
| クラスメートに指摘された点を理解する | | | |
| クラスメートの意見に沿って修正を加える | | | |
| 質問に対する答え（家族構成）の箇所を読む | 台湾人の学生の家族構成や趣味を理解す る | 返事をもらって読み、内容を理 解する | |
| 質問に対する答え（趣味）の箇所を読む | | | |
| その他の内容（相手の名前、学科等）を読む | | | |
| 分からない箇所に印をつける | 意味が分からないものは辞書やスマート ホンで単語の意味を調べる。それでもわか らないものに関してはクラスメートや先 生、TA に聞いたりする | | |
| 自分で調べ解決できそうなものとそうでない ものに分け印をつける | | | |
| 自分で調べ解決できそうなものは先に調べ、残 りは人に聞く | | | |
| [総括的評価] 評定表に従って、手紙の内容を評価する、中間テストで単語問題を出す | | | |